

国際系学部の特徴比較

	全科目英語				一部科目英語		
	大学	学部・学科	プログラム	学部・学科	学部・学科		
主催 と 特徴	大学主催型	学部主催型	既存学部横断型	学部コース型	国際系学部といっても学べる学問分野、英語で行われる科目の割合は学部（学科）により大きく異なる。		
	大学の全科目が英語で教授される。	単独学部の全科目が英語で教授され、幅広い専門分野を深く学ぶ。	複数学部の一部の科目が英語で教授され、それらを横断的なプログラムとして学ぶ。	単独学部内に英語を教授言語とするコースが設置され、コース内の科目を中心に学ぶ。	日本のこと / 政治経済のこと / 異文化のこと / 英語力の向上（語学と言語学は異なる）など		
	例）A大学 ★学生はA大学の各学部 に所属	例）GIS（グローバル教養学部） ★学生はGIS（グローバル教養学部）に所属	例）経営学部、社会学部、文学部等で英語で よる科目を受講 ★学生は「本籍」を各学部 に置き、プログラムに参加	例）経済学部英語学位コース ★学生は経済学部英語学位 コースに所属	また上級科目のみ英語で提供 されている場合もあるので注意が 必要		
					例）国際A学部（学科） ★学生は国際A学部（学科）に 所属		
1学年 定員	中～多 (200名～)	中～多 (100名～)	少 (20名前後)	少～中 (20名～)	1学年定員は学部によって異なる		
全科目に 対する英 語の割合	100%	100%	100%	100%	0～ 30%	30～ 40%	40～ 60%
必要な 英語力	中～高	高	高	高	低	低	低～中
帰国生の 割合	中～多	多	多	多	少	少	中

* 上記は一般的な分類であり、これらに限定されるものではありません。